

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		0145/150705/05/00		事業の種類		4		
年度	19	事務事業名		老人日常生活用具給付等事業		作成日	平成21年1月20日		重要度	3
予算事業名		老人日常生活用具給付等事業		担当部課名	健康福祉課					
政策名		すこやかに暮らせる、心かようまちづくり								
施策名		高齢者福祉		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無	
根拠法規及び関連法規		相生市老人日常生活用具給付等事業実施要綱								
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者								
	誰(何)を対象として	65歳以上のひとり暮らしで、火の始末が特に不安な者								
	意図(どのような状態にしたいのか)	電磁調理器や自動消火器を給付等し、在宅生活を支援する								

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳以上のひとり暮らしで、火の始末が特に不安な者に電磁調理器や自動消火器を給付等し、在宅生活を支援する				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	給付人数	人	3	7	3	5

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.020	0.020	100.0	0.020	100.0	0.020	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,136,128	885,594	77.9	913,605	103.2	869,812	95.2	
	事業費	46,620	83,160	178.4	38,030	45.7	100,000	263.0	
	合計	1,182,748	968,754	81.9	951,635	98.2	969,812	101.9	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	31,000		-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,151,748	968,754	84.1	951,635	98.2	969,812	101.9	
	合計	1,182,748	968,754	81.9	951,635	98.2	969,812	101.9	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付人数							
指標説明(式)		給付人数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	25	833.3	27	108.0	5	18.5	
	実績	3	7	233.3	3	42.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1	人数あたりのコスト								
指標説明(式)	総経費/給付人数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績	394,250	138,394	35.1	317,212	229.2	193,963	61.1	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	火の始末に不安のある在宅高齢者に、火を使用しない電磁調理器や火災を予防する自動消火器の給付は妥当である。	4	4
	市民ニーズ	火の始末に不安があるものの、在宅生活において、調理を継続したいという高齢者にとっては必要である。		
有効性	成果目標(改善)達成度	防火配慮の必要な一人暮らし高齢者の不安を解消し、在宅生活を支援できた。	3	3
	市民サービス	給付から取付までのサービスは高齢者にとって有効。		
効率性	手段の最適性	電磁調理器の給付はガスの消し忘れといった不安を解消し、在宅での調理意欲を保持させることができる。	4	4
	執行体制の効率性	家族・ケアマネージャー・民生委員・業者等関係者に協力してもらい、申請から取付までの調整を行っている。		

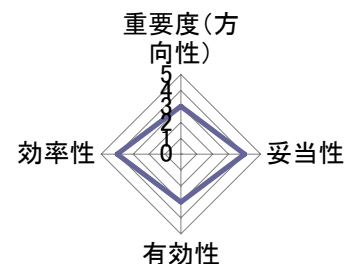
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民ニーズ	給付実績が少ない。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民ニーズ	関係者等に広報活動を強化したい。
H19→H20予算反映額		



(2) 20年度の実施方針

継続実施。

検討の有無	—
総合指標	19